

<プログラムのハイライト>

●特別講演 1 (10月13日 11:00~12:00)

いよいよ放射線測定の信頼性確保の義務化に関し、令和5年10月の施行が迫っています。最新の放射線規制の動向を原子力規制庁の担当官の方に解説いただきます。質疑応答も、皆様の疑問解決に直結しますので、リアルタイムでの活発なご討論ご議論をいただきたいと思います。

●特別講演 2 (10月14日 11:10~12:10)

北海道大学大学院工学研究院の加美山隆氏に、中性子によるイメージングを中心とした研究と実験施設の放射化も含めいかに放射線管理され工夫されているかご講演いただきます。宇宙からの中性子線を含む宇宙放射線による半導体のソフトウェアの防止に関しても先端の研究を進められています。中性子を中心として展開されてきた様々な研究と貴重な成果をご披露いただきます。

●特別講演 3 (10月14日 13:10~14:10)

北海道電力の松田茂樹氏に「泊発電所の放射線管理と北海道胆振東部地震におけるブラックアウト対応(仮題)」として、大規模停電が発生した原因から泊原子力発電所での放射線管理までご講演いただきます。このような広域の長時間停電は初めての経験です。最近の液化天然ガスの供給懸念も加わり、平時の現在でも酷暑や厳冬期には電力不足が叫ばれています。社会に大きな広がりを持つ重い話題であり貴重なお話をご講演いただきます。

●シンポジウム 1 (10月13日 13:10~14:50)

場所と人の線量の算定に必須な放射線測定器に関しご講演いただきます。法令改正に伴う点検・校正の話題について、メーカーである千代田テクノル、富士電機、日本レイテックの3社からご講演いただきます。場所や試料、人と各々得意とされる測定分野での機器の点検と校正につき、高い知識とご経験を元に貴重なご講演をいただけたと思います。

●シンポジウム 2 (10月13日 15:00~17:00、10月14日 14:20~16:00)

ポスター発表として実施してきた放射線安全管理に係る事例紹介等を、オンライン大会であることから従前のポスター発表を取り込んだ口頭発表として2日間に分けて行います。ポスターの掲示は、会期中2日間随時閲覧可能とし、ポスター賞の授与も計画しています。ポスター発表で実施していた部会の報告事項等(分科会、専門委員会、支部等)は2日目で行います。

●シンポジウム 3 (10月14日 9:30~11:00)

企画専門委員会企画として、放射線管理室のリモートワーク体制、記録・記帳のデジタル化、教育訓練のオンライン化などについて、情報共有と理解を深める講演をいただきます。

●相談コーナー (10月13日 12:00~13:00)

放射線管理業務における疑問やお困りごとなどについて、個室(非公開のブレイクアウトルーム)にてご相談をお受けいたします。事前申込制で、放射線管理・安全取扱、法令、R I 供給・廃棄など幅広い分野に対応できます。

●Web 交流会 (10月13日 17:10~18:40)

参加者が一堂に会し、情報交換を行うことができます。ブレイクアウトルームを利用して、特定のグループ(各支部、分科会等)での利用も可能です(グループは事前登録制を計画中)。北海道を感じていただけるよう計画を進めています。

●機器展示

年次大会サイトのトップページに放射線関連サービス会社、製品メーカーによるバナー広告等を掲載します。休憩時間には広告動画を上映しますので、皆様ご覧ください。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。